

NY マーケットレポート (2015年12月21日)

NY 市場では、序盤に発表された米経済指標が予想を下回る結果となったことや、原油価格が6年ぶり安値更新となったこと、また堅調な展開で始まった株価が下落に転じ、マイナス圏まで下落したことを受けて、ドル円・クロス円は軟調な動きとなった。その後は、株価が再び堅調な動きとなったことを受けて、ドル円・クロス円は終盤まで堅調な展開が続いた。

2015/12/21 (月)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	121.30	121.51	121.05
EUR/JPY	131.84	132.08	131.55
GBP/JPY	180.85	181.24	180.57
AUD/JPY	87.05	87.17	86.68
EUR/USD	1.0871	1.0884	1.0850

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	121.51	121.30
EUR/JPY	132.09	131.69
GBP/JPY	181.14	180.62
AUD/JPY	87.16	86.87
EUR/USD	1.0883	1.0849

*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	18916.02	-70.78
ハンセン指数	21791.68	+36.12
上海総合	3642.47	+63.51
韓国総合指数	1981.19	+5.87
豪ASX200	5109.05	+2.39
インドSENSEX指数	25735.90	+216.68
シンガポールST指数	2845.55	-7.29

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	6034.84	-17.58
仏CAC40	4565.17	-60.09
独DAX	10497.77	+110.42
ST欧州600	357.15	-4.08
西IBEX35指数	9365.80	-351.30
伊FTSE MIB指数	21099.32	-142.61
南ア全株指数	49189.99	+472.71

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	121.19	121.44	120.85
EUR/JPY	132.32	132.34	131.78
GBP/JPY	180.37	180.90	179.97
AUD/JPY	87.09	87.20	86.64
NZD/JPY	81.97	82.18	81.77
EUR/USD	1.0919	1.0939	1.0857
AUD/USD	0.7187	0.7196	0.7161

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	17251.62	+123.07
S&P500	2021.15	+15.60
NASDAQ	4968.92	+45.84
日経225 (CME)	18850	+70
🇨🇦 トロント総合	13034.38	+10.08
🇧🇷 ボルサ指数	43160.61	+223.98
🇧🇷 ボベスパ指数	43199.95	-710.64

12/22 経済指標スケジュール

09:05	【英】12月GfK消費者信頼感調査
14:00	【日】12月中小企業景況判断
16:00	【スイス】11月貿易収支
16:00	【独】1月GfK消費者信頼感調査
16:00	【独】11月輸入物価指数
17:30	【スウェーデン】11月生産者物価指数
17:30	【スウェーデン】11月小売売上高
18:30	【英】11月公共部門純借入所要額
18:30	【英】11月公共部門純借入額
21:00	【トルコ】政策金利発表
22:30	【米】3Q GDP
22:30	【米】3Q個人消費
23:00	【米】10月住宅価格指数
00:00	【米】12月リッチモンド連銀製造業指数
00:00	【米】11月中古住宅販売件数

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1080.60	+15.50
NY 原油	34.74	-0.01
CMEコーン	372.00	-2.50
CBOT 大豆	891.50	-1.25

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.95%	0.95%
3年債	1.27%	1.28%
5年債	1.67%	1.67%
7年債	2.00%	2.00%
10年債	2.19%	2.20%
30年債	2.91%	2.92%

12/22 主要会議・講演・その他予定

--

(出所:SBILM)

NY 市場レポート

欧州タイム

《ポイント》

短期金融市場では、3ヵ月物ドルLIBOR（ロンドン銀行間取引金利）が0.59310%で清算、18日の0.58550%から上昇し、6年半ぶりの高水準となった。先週の米利上げを受けて、上昇幅が拡大した。

22:00

ドル/円 121.41 ユーロ/円 131.87 ユーロ/ドル 1.0862

22:00

欧州株式市場・米株価指数先物

欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	6107.20	+54.78	ダウ 先物ミニ	17138	+121
仏 CAC40	4644.89	+19.63	S&P 500 ミニ	2008.25	+16.25
独 DAX	10692.50	+84.31	NASDAQ 100 ミニ	4541.25	+36.75

(出所：SBILM)

22:30

《 経済指標の結果 》

11月シカゴ連銀全米活動指数 -0.30 (予想 0.10・前回 -0.17)
 前回発表の-0.04 から-0.17 に修正されています。



(出所：ブルームバーグ)

指標結果データ

《シカゴ連銀全米活動指数》

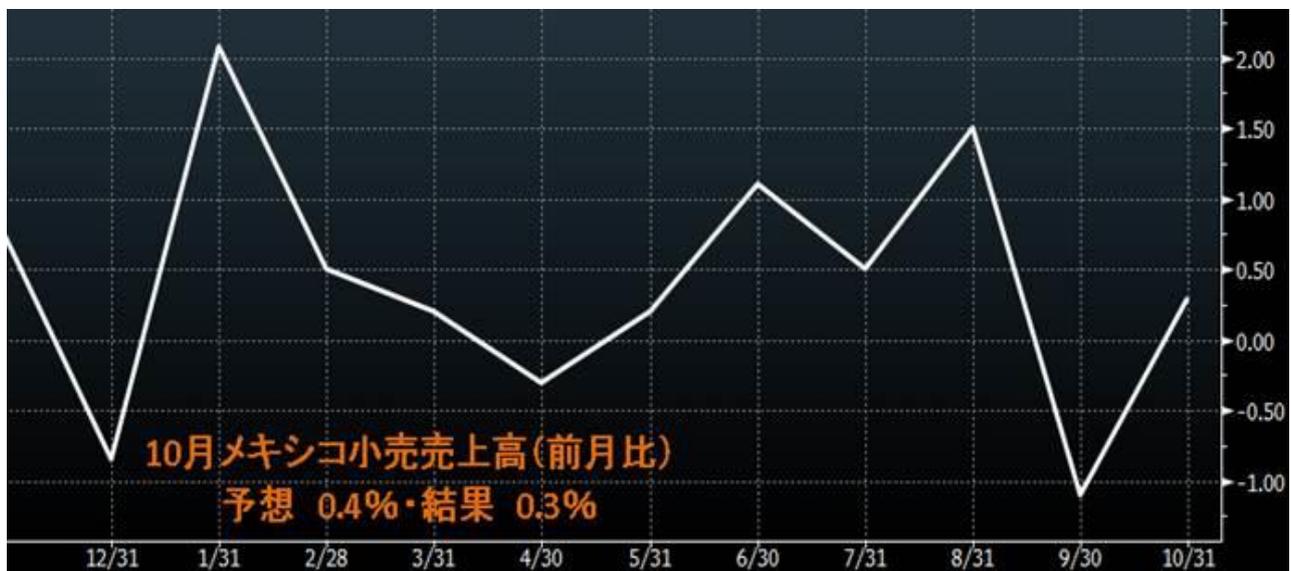
11月・・・10月・・・9月・・・8月・・・7月・・・6月
 活動指数・・・-0.30・・・-0.17・・・-0.29・・・-0.29・・・0.49・・・-0.04
 3ヵ月平均・・・-0.25・・・-0.25・・・-0.03・・・0.05・・・0.04・・・-0.07

23:00

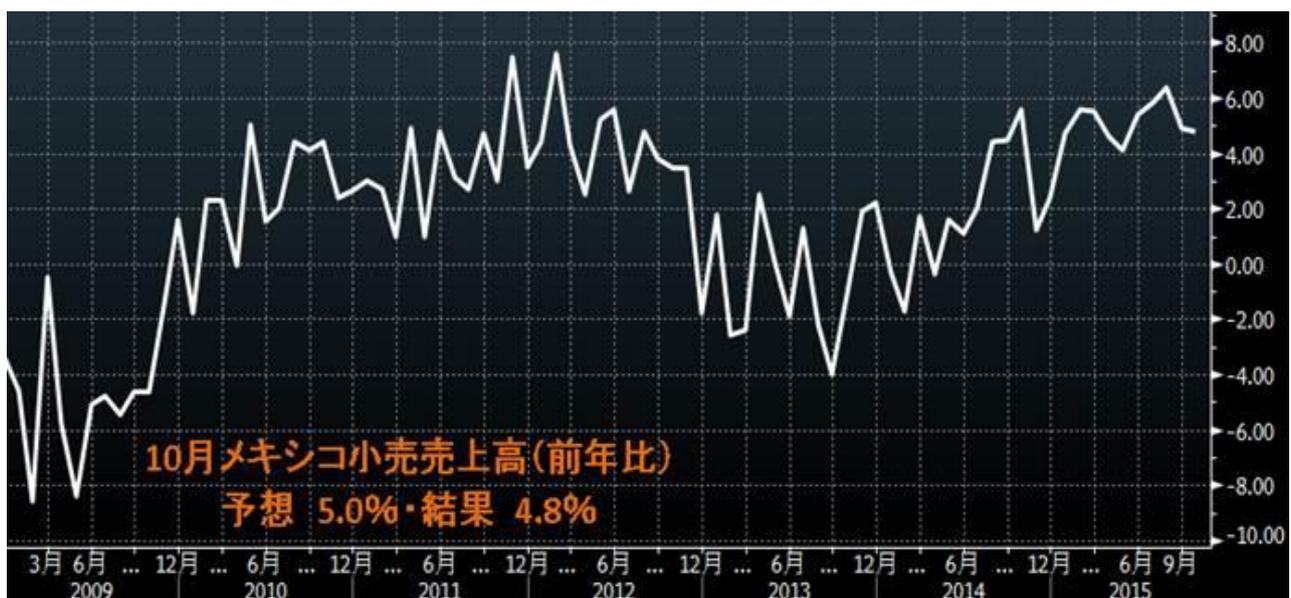
《 経済指標の結果 》

10月メキシコ小売売上高（前月比） 0.3%（予想 0.4%・前回 -1.2%）
 前回発表の-1.1%から-1.2%に修正

10月メキシコ小売売上高（前年比） 4.8%（予想 5.0%・前回 4.9%）



(出所：ブルームバーグ)



(出所：ブルームバーグ)

《ポイント》

米FRBが公表したデータによると、国内銀行の主要翌日物借入金利、FF（フェデラル・ファンド）金利が18日も、7年ぶり高水準で推移していたことが分かった。FF金利平均は、2日連続で0.37%となった。実効FF金利は0.28-0.56%（17日は0.28-0.59%）だった。21日午前の取引で、FF金利は0.35-0.37%、18日終盤は0.35%だった。

23:33

米主要株価

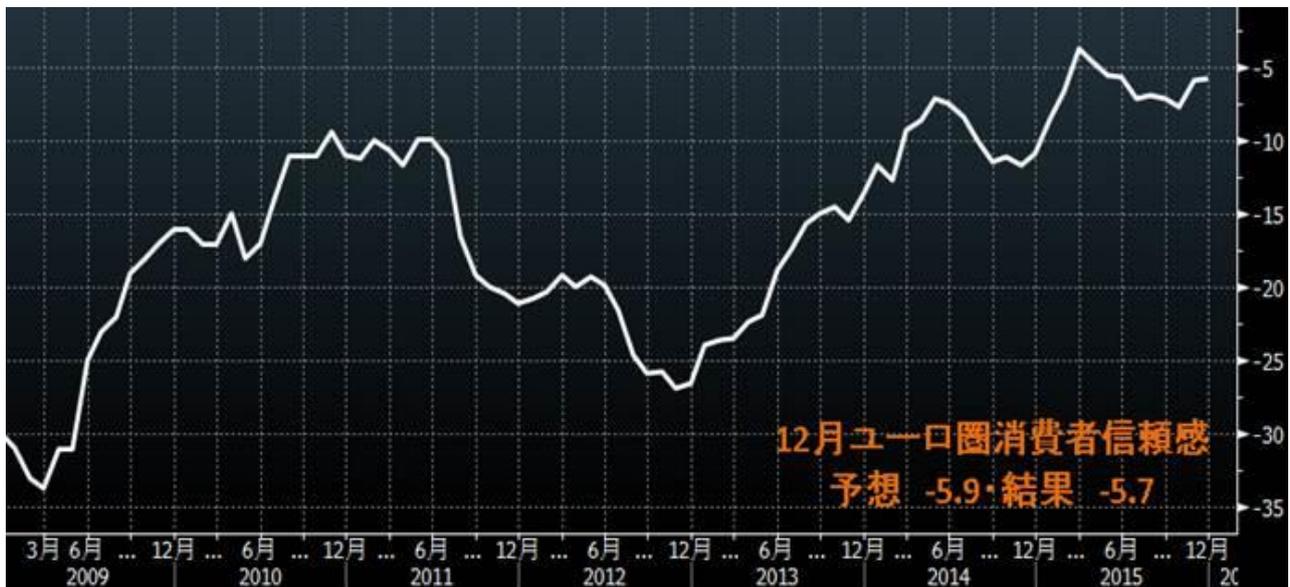
米主要株	株価	前日比
ダウ平均	17267.85	139.30
ナスダック	4967.36	+44.28

(出所: SBILM)

0:00

《経済指標の結果》

12月ユーロ圏消費者信頼感 -5.7 (予想 -5.9・前回 -5.9)



(出所: ブルームバーグ)

指標結果データ

《ユーロ圏消費者信頼感指数》

12月・11月・10月・9月・8月・7月
 ユーロ圏消費者信頼感指数・-5.7・-5.9・-7.5・-7.0・-6.7・-7.0
 EU消費者信頼感指数・-3.7・-4.4・-5.6・-5.4・-4.6・-4.8

0:30

◀ NY 株式市場 序盤 ▶

序盤の株式市場は、前週末の大幅安で値頃感の買い戻しが入ったことや、欧州の株高も投資家心理を改善させ、主要株価は堅調な動きとなっている。ダウ平均株価は、序盤から堅調な動きとなり、一時前週末比で143ドル高まで上昇する動きとなっている。

◀ 経済指標のポイント ▶

欧州委員会が発表した12月のユーロ圏消費者信頼感指数は、市場予想の-5.9を上回る-5.7となり、前月から0.3ポイント改善した。EU全体の消費者信頼感指数は、-3.7と、0.7ポイント改善した。

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	6034.84	-17.58
仏 CAC40	4565.17	-60.09
独 DAX	10497.77	+110.42
ストック欧州 600 指数	357.15	-4.08
ユーロファースト 300 指数	1401.94	-17.41
スペイン IBEX35 指数	9365.80	-351.30
イタリア FTSE MIB 指数	21099.32	-142.61
南ア アフリカ全株指数	49189.99	+472.71

(出所:SBILM)

◀ 欧州株式市場 ▶

欧州株式市場は、企業業績の改善期待を背景に、主要株価は堅調な展開で始まった。午後には、原油安に対する警戒感が強まり、売りが優勢となった。



(出所:ブルームバーグ)

2:00

米主要株価・中盤

ダウ 17142.48 (+13.93)、S&P500 2006.56 (+1.01) ナスダック 4942.59 (+19.51)

《海外の話題》

ブラジルの世論調査によると、今年、低下が続いていたルセフ大統領の支持率が、若干上昇している。ルセフ政権を「悪い」または「大変悪い」と感じていた回答者の割合が全体の65%で、8月の71%から改善した。ルセフ大統領は、過去25年超で最悪の景気後退の中、汚職問題で弾劾手続きに直面している。ただ弾劾をめぐる攻防が進むにつれて、大統領の辞任を望むとの回答は11月の62%から56%に、弾劾を望むとの回答は同65%から60%に、それぞれ改善している。

《 NY 債券市場 ・ 午前 》

序盤のニューヨーク債券市場は、原油の値下がりが引き続き支援材料となる一方、前週末までの上昇の反動で利益確定売りも出やすく、もみ合いの展開となった。また、クリスマス休暇を控えて市場参加者が減る中、積極的な取引を見送るムードも強かった。

午前の利回りは、30年債が2.91%（前週末2.92%）、10年債が2.20%（2.20%）、7年債が2.00%（2.01%）、5年債が1.67%（1.68%）、3年債が1.28%（1.28%）、2年債が0.96%（0.95%）。

2:45

《 要人発言 》

ロックハート・アトランタ連銀総裁～ラジオのインタビュー

- ・「緩やかとは1回置きの上昇と自分は理解」
- ・「利上げはドルの価値に強い影響を与えかねない」
- ・「利上げでドルが自動的に上昇するわけではない」

EGB 公的部門購入プログラム

12月18日・12月11日・12月4日・11月27日・11月20日・11月13日

公的部門・・・4866.9・・・4755.1・・・4619.1・・・4454.4・・・4317.1・・・4191.4

資産担保証券ABS・・・155.6・・・154.3・・・153.4・・・152.0・・・149.7・・・148.1

カバード債・・・1433.6・・・1418.2・・・1399.2・・・1378.2・・・1356.9・・・1341.4

(億ユーロ)

4:35

NY金は、中心限月が前週末比15.50ドル高1オンス=1080.60ドルで取引を終了した。

5:30

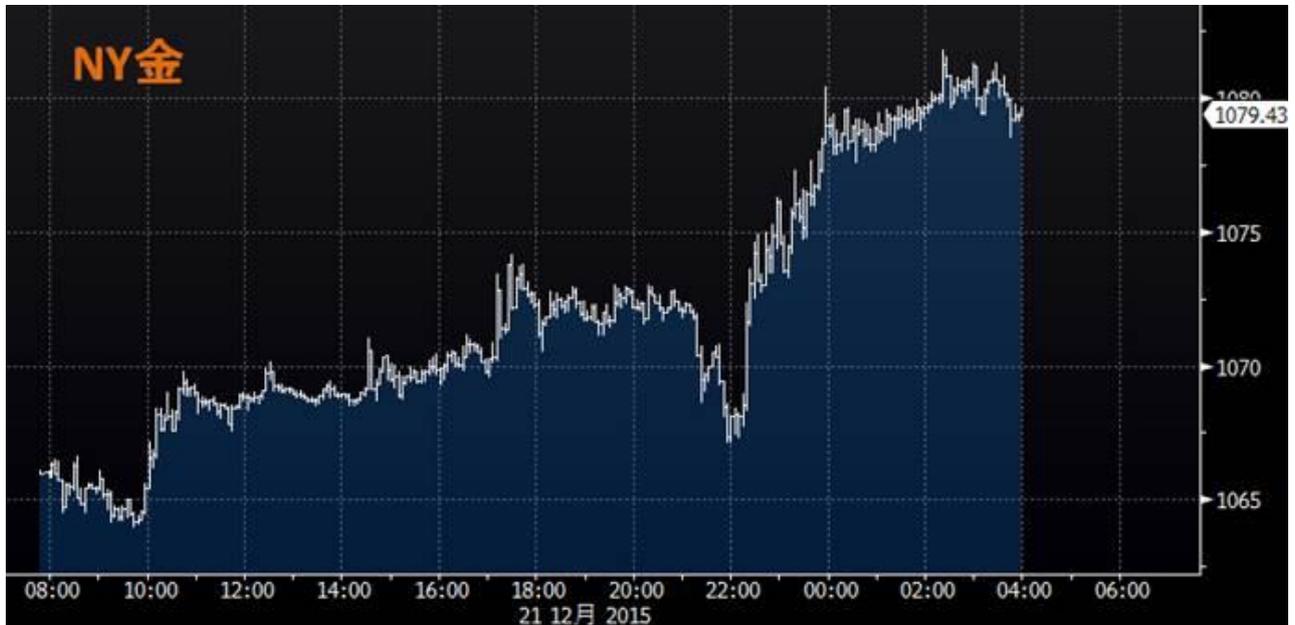
NY原油は、中心限月が前週末比0.01ドル安の1バレル=34.74ドルで取引を終了した。

主要商品	終値	前日比
NY GOLD	1080.60	+15.50
NY 原油	34.74	-0.01

(出所:SBILM)

◀ NY 金市場 ▶

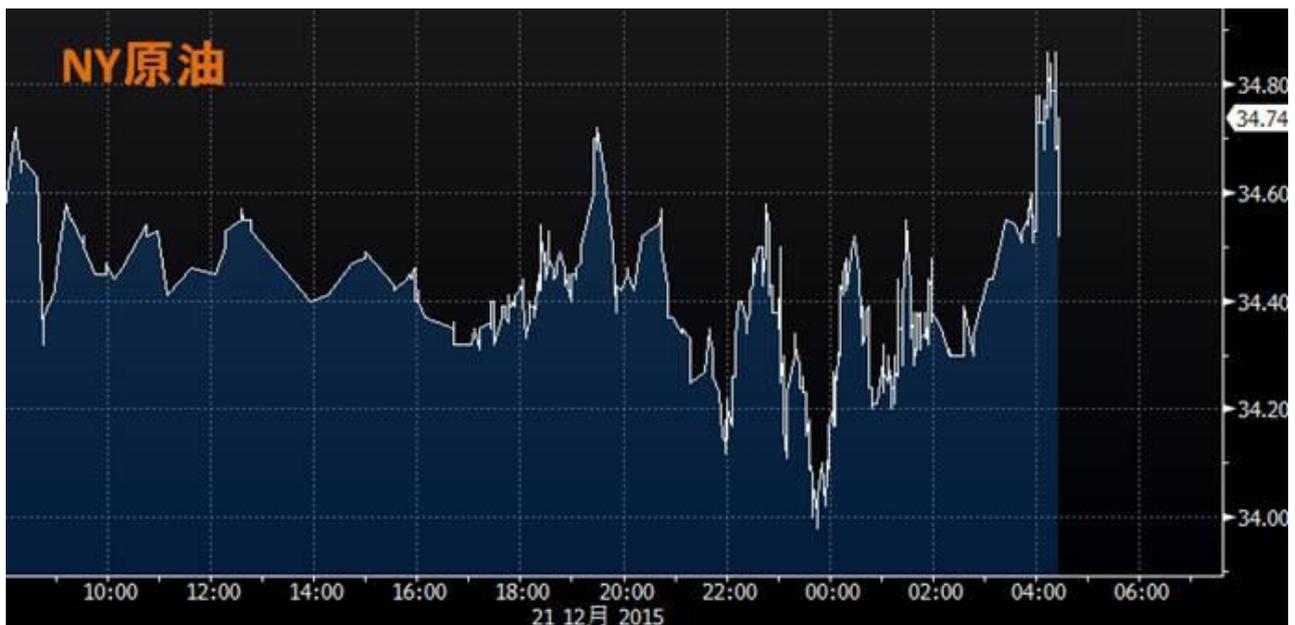
NY 金は、ドルが主要通貨に対して下落したことから、ドルの代替資産とされる金を買う動きが優勢となった。また、米 FRB による利上げのペースが緩やかになるとの見方も下支え要因となった。



(出所：ブルームバーグ)

◀ NY 原油市場 ▶

NY 原油は、米国が原油輸出の全面解禁を決めたことで世界的に過剰供給が進むとの懸念から売りが優勢となり、一時 1 バレル=33.98 ドルまで下落し、2009 年 2 月以来約 6 年 10 カ月ぶりの安値を付ける場面もあった。ただ、引けにかけては値頃感の買い戻しも入り、もみ合いの展開が続いた。



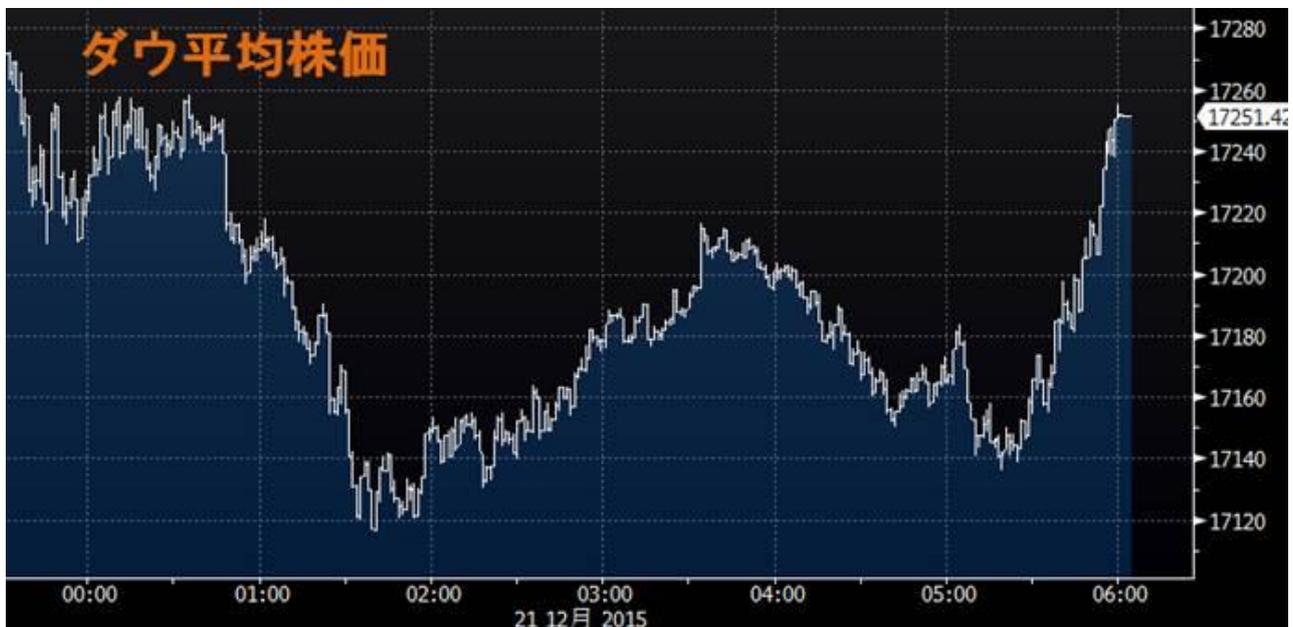
(出所：ブルームバーグ)

主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	17251.62	+123.07	17272.36	17116.73
S&P500 種	2021.15	+15.60	2022.90	2005.93
ナスダック	4968.92	45.84	4968.92	4928.93

(出所：SBILM)

《米株式市場》

米株式市場は、前週末の大幅安で値頃感の買い戻しが入ったことや、欧州の株高も投資家心理を改善させ、序盤の主要株価は堅調な動きとなった。しかし、その後は一時マイナス圏まで下落したものの、引けにかけては再び堅調な動きとなった。



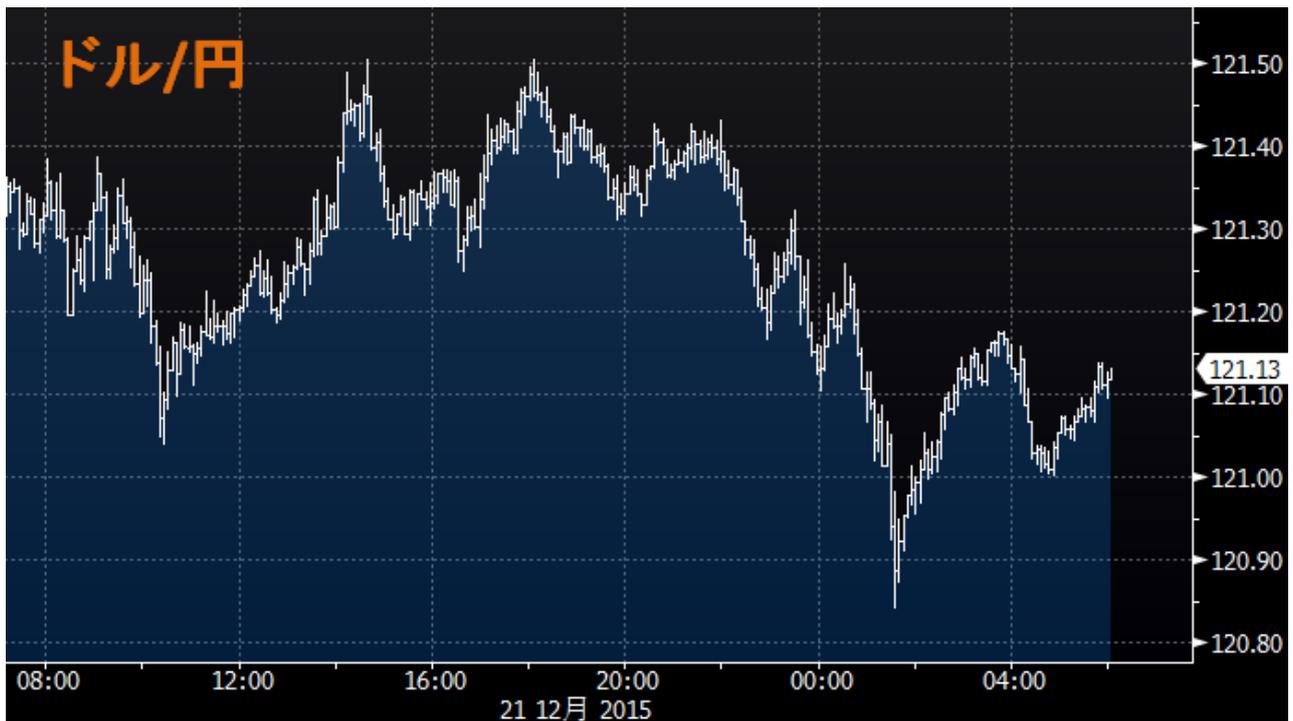
(出所：ブルームバーグ)

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	121.19	121.44	120.85
EUR/JPY	132.32	132.34	131.78
GBP/JPY	180.37	180.90	179.97
AUD/JPY	87.09	87.20	86.64
NZD/JPY	81.97	82.18	81.77
EUR/USD	1.0919	1.0939	1.0857
AUD/USD	0.7187	0.7196	0.7161

(出所：SBILM)

《外国為替市場》

外国為替市場は、米国の経済指標が予想を下回ったことや、堅調な展開だった欧米の株価がマイナス圏まで下落する動きとなったことを受けて、ドル/円は軟調な動きとなった。その後は、引けにかけて株価が上昇したことから、ドル円・クロス円も堅調な動きとなった。



(出所：ブルームバーグ)



(出所：ブルームバーグ)

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。